

①オリエンテーション

本時の目標

学校設定科目「データサイエンスI」の概要を理解し、学習の見通しを立てる。

本時の内容

- 1 目的(ねらい)・到達目標
- 2 探究の方法
- 3 スケジュール
- 4 評価

1 目的(ねらい)・到達目標

統計的探究プロセスによる課題研究を協働的に実践し、自ら課題を発見する力、課題を解決する力、自分の意見を伝える力を身に付ける。

課題研究の意義

自ら課題を発見する力



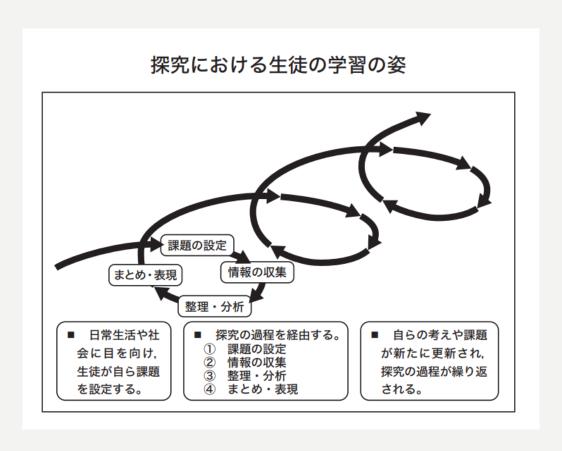
自分の意見を伝える力

21世紀型スキルとは

ICTを活用した科学的・協働的課題解決力

科学的な探究のプロセスを踏まえて、客観的なデータに対して適切に統計処理を行って得られるエビデンス(科学的証拠)に基づいて、課題の解決策を提案することができる力。

新学習指導要領 【総合的な探究の時間】



文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 【総合的な探究の時間編】より

大学入試改革

●一般選抜

教科試験中心



面接・志望理由

書・活動報告書

課題研究

- ●総合型選抜·学校推薦
- 活動報告書
- 小論文
- ・プレゼンテーション

現在2割未満

定員の3割 まで拡大

2 探究の方法

統計的探究プロセスによる課題研究

探究とは?

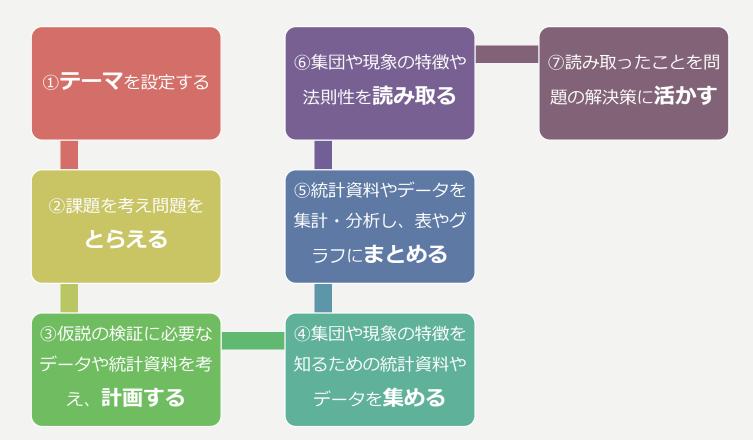
<mark>答えが明らかになっていない</mark>疑問について追究すること。

統計でなにができる?

対象とする集団や現象を大量に観察・測定したデータによって求めた指標やグラフを読み取り、それらを根拠に結論や提案をすることが可能になる。

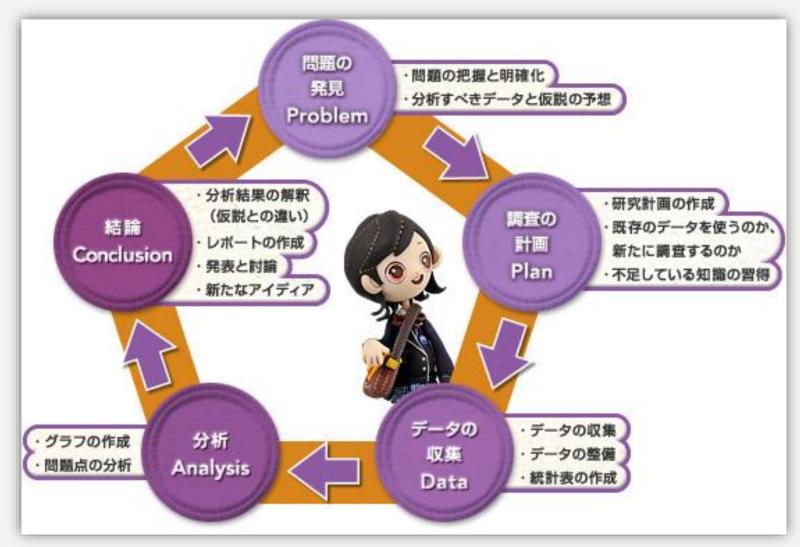
統計的探究プロセス

具体的な問題に対して客観的なデータを集め、統計の手法を活用して分析し、得られた根拠に基づいて問題の解決策を提案する一連の流れ



『生徒のための統計活用~基礎編~(総務省)参照

PPDACサイクル



なるほど統計学園高等部(総務省 統計局)より

データサイエンス I 大テーマ



「地方創生☆政策アイデアコンテスト」

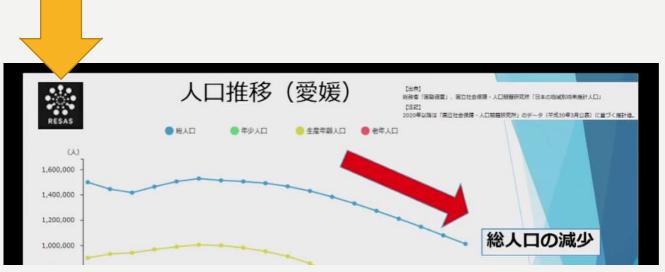
入賞作品(松山南高校)



YouTube 地方創生【内閣官房・内閣府】より

R E S A S の活用





3 スケジュール



「地方創生☆政策アイデアコンテスト」10月中旬しめきり

4 評価

- 毎時間のコメント
- 設定した課題
- データの収集・整理・分析
- ・ 主張の論理性
- 課題解決を通した社会参画・社会貢献度
- プレゼンテーションやポスターなどの成果物
- 発表や質疑応答などの言語活動
- 自己評価や相互評価
- 課題設定や課題解決能力をみるような記述テストの結果

参考

- 『生徒のための統計活用~基礎編~』 000425144.pdf (soumu.go.jp)
- 「なるほど統計学園高等部」
 https://www.stat.go.jp/koukou/index.html
- 「松山南高ホームページSSH専用website」
 ホーム Ehime Prefectural Matsuyama Minami High
 School SSH (esnet.ed.jp)
- 「RESAS 地域経済分析システム」
 https://resas.go.jp/